

<地域の淡水生態系保全活動>

科学部は、本年度からWWFジャパン（世界自然保護基金ジャパン）との協働により、菊池川水系において、上記の活動を行うことになりました。

4月3日に関係の方々とキックオフ会議を行いました。（玉名高校化学実験室）



WWF ジャパン久保様の趣旨説明



九州大学大学院鬼倉教授 科学部との質問セッション 玉名市の淡水魚類相について



環境省鈴木様 希少種保全の取り組みについて

※1970年と比較し淡水のいきものは-83%
（陸-38, 海-36）になってしまっている。
※菊池川流域には淡水のいきものの生存が多く確認されており、全国的にも貴重となりつつある恵まれた環境が残っている。など地域の環境について多くの学びを得ました。

楽しみにしていた繁根木川でのいきもの観察会が、雨のため中止になり、化学実験室での観察会になりました。午後からは今後の活動の調査地点候補を巡り、活動への意欲を新たにしました。



WWF ジャパン様、九州地方環境事務所様、菊池川河川事務所様、日本野鳥の会熊本県支部様、菊池川おかわの会様、森里川海技術士事務所様、3社の報道機関の方々にもご参加いただき、ありがとうございました。